



# はなのき

神坂小学校だより No.13 2022.3.23



## 感謝 ～ありがとうの心～

校長 高橋 浩之

今年度も昨年に引き続き、コロナ禍での6年生を送る会となりました。そのため、全校揃っての会はできず、学年ごとに6年生に向けて感謝の思いを伝える形で実施しました。5年生がリーダーシップをとって6年生に感謝の気持ちを伝えるために、例年以上に様々な工夫をしながら会を企画・運営してくれました。今年度もなかよし班遊びの回数が少なく、一緒に過ごす機会がとても少なくなりましたが、思い出すといつもそばには6年生の姿がありました。



- 常に安全を意識してくれた登下校。転んだり、体調が悪くなったりと、突然の出来事にも下級生が不安にならないようそばに寄り添い支えてくれました。
- 道具の使い方や一緒に黙々と取り組んだ掃除。学校を美しくしようと集中して床を磨いたり、整頓したりと見本を姿で示してくれました。
- やさしく丁寧に教えてくれた三味線。自分たちが先輩方に教えてもらったことを思い出しながら、楽しく三味線に親んでもらおうと動きを見せながら一つ一つできたことをほめて、自信をつけさせてくれました。
- いつも笑顔で交わしてくれた挨拶。中学校とコラボしたり、エアタッチを活用して笑顔で挨拶をしてくれたりと、一年間通じて挨拶運動で出迎えてくれました。

思い出すと様々なところで、6年生にお世話になっていたことが思い出されました。さらに5年生は、成長した自分たちを見てもらい、安心して卒業してもらおうと、決められた担当の仕事を最後まで取り組んでいました。苦手なことも力を合わせて心が温くなる会を創り上げてくれました。



当日は、どの学年も6年生がいる前での発表で、不安と緊張が折り重なりドキドキしていたようですが、6年生の温かい笑顔で練習の成果が発揮できたと思います。

1年生は、国語で学んだ音読を音楽に合わせて発表しました。2年生は、手話を入れて歌ったり、楽器を楽しく演奏したりしました。3年生は、6年生への気持ちを込めた替え歌を発表しました。プレゼントを渡すときに一人一人思いを語る姿が印象的でした。4年生は、ハン

ドベルを使い、心温まる美しい音色を響かせてくれました。そして5年生は、6年生から引き継いだ三味線を見事に演奏しました。6年生も、その様子を見守りながら、卒業していくことを実感する瞬間となりました。

いよいよ明日は卒業式です。見本として取り組み続けた6年生。それが達成できたのは、この神坂小の仲間と家族の皆様、地域の皆様のおかげだと感じていることと思います。感謝の気持ちを持ち、笑顔で臨む卒業式を期待しています。

一年間通じてコロナ禍での活動のため、様々な場面でご負担をおかけしたことと思います。しかし、今回のように、工夫改善しながら活動ができたのは、保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

